

感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について

競技者・チーム関係者（指導者・コーチ・部員）対策

一般社団法人横浜市陸上競技協会

本協会主催競技会に関わる競技者・チーム関係者（指導者 コーチ 部員）の方々は、つぎの事項を遵守して競技会に参加してください。

【競技会開催の前提条件】

1 緊急事態宣言の解除

神奈川県警戒アラートが発出されていない。

（※発出されても①～④の条件下では開催する。）

① 移動制限の解除

② 不要不急の外出自粛の解除

③ 店舗営業自粛の解除

④ 学校で部活動・対外競技会への参加が認められていること。（高校生 中学生）

2 競技会開催を神奈川県が認めていること。

3 県内において新型コロナウイルス感染症の診療体制が整っている緊急時の後方支援病院があること。

4 競技会に関わる全ての人（競技役員・競技運営関係者・競技者・チーム関係者等）は、各自つぎのように健康状態を整えて競技会に臨むこと。

・ 3密（密閉 密集 密接）を避けて行動する。

・ 体調（咳 鼻水 咽頭痛 下痢 味覚障害 嗅覚障害等の自覚症状）管理を徹底する。

・ 手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底する。

・ マスクを着用する。息苦しさを感じた場合は、マスクを外して、水分補給や休憩を取るなど無理をしない。

・ 開催1週間前からの体調報告と検温の義務。

・ 終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告・相談しその後必ず横浜市陸協に報告する。

5 日本陸連作成 陸上競技活動再開についてのガイダンス「競技会の開催について」に沿った競技会運営をする。

6 主催者は、競技会に関わる全ての人への感染に対するいかなる責任を負わない。

【競技者・チーム関係者（指導者・コーチ・部員）対策】

- 1 競技者・チーム関係者は、大会1週間前から検温を義務付け、指定の「大会前／提出用新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」に記入し大会本部へ提出する。一般・大学生・クラブチームは、チーム代表者が「大会前／提出用新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」をチェックして「参加状況報告書」（横浜市陸協HPよりダウンロード）を提出すること。但し、中学生は中体連、高校生は高体連でそれぞれ指示された書類を提出すること。
また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、保管すること。
未提出者は、競技会の出場や会場への入場はできない。
- 2 「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を横浜市陸協HPからダウンロードし、代表者を通じて参加者へ配布すること。
- 3 主催者は、「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の個人情報の取り扱いには充分注意しながら1ヶ月保管し、適正かつ速やかに廃棄する。また、この個人情報を保健所、医療機関等の第三者へ提供する事がある。
- 4 不確かな競技者・チーム関係者がでた場合は、その場で検温を実施し状況によっては、競技会への出場や会場への入場を許可しないことがある。
- 5 競技の時以外（招集中・移動中・待機中）は、マスクを必ず着用する。
- 6 競技会の規模、目的に応じて参加資格を制限することがある。
 - ・年齢、参加資格記録等でレース数、組数を調整することがある。
- 7 更衣室の使用は、短時間にする。（※シャワールームは使用禁止）
更衣室の目的外使用は禁止する。
- 8 ダッグアウト裏通路を使用する場合は速やかに通り抜ける。
- 9 ゴミは、各自で持ち帰って処理する。
- 10 中長距離レースでは、少人数でも2段階スタートで実施することがある。
- 11 開会式、閉会式、表彰式は原則、実施しない。
- 12 フィールド種目の待機中、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 13 投擲器具や滑り止め（炭酸マグネシウム）は、共用できる。但し、滑り止めは、競技者自身が容器に手を入れて着ける形ではなく競技役員や補助員から適量を受け取る方法、または、競技者の持ち込みも可とする。投擲器具についても各自持ち込みを可とする。感染防止の観点から投擲器具・滑り止めは、持ち込みを推奨する。
- 14 跳躍競技の助走練習、投擲練習は、競技役員が1人ずつ順番に競技者を呼び出す方法で実施する。
- 15 フィールド種目の待機中、競技者同士の会話は、極力避けマスクを着用する。
- 16 声を出しての応援、集団での応援は、禁止する。
テントの使用については「三密」を避けて使用する。
- 17 競技者への付き添いは、禁止する。

- 18 ウォーミングアップは、個別に行い集団によるものを禁止する。
- 19 ウォームアップ場への入場は競技者のみとする。
- 20 競技場施設への入場方法は、3密を避け、転倒等の事故が起こらないよう開門時に係員が指示するのでそれに必ず従うこと。各団体が並ぶ人数は1名とする。
順番に並ぶ際は、お互いにソーシャルディスタンスを確保して会話も極力避けること。
- 21 競技会終了後、参加者は新型コロナウイルス発症症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの神奈川県衛生部局と横浜市陸協に報告する。(横浜市陸協担当：090-8173-9066)
- 22 観戦の観客への対応事項
 - ① 関係者以外の競技場・ウォームアップ場への入場はできない。
 - ② 競技場・ウォームアップ場施設入場口に看板や貼紙で注意を促す。